



生徒会新体制発足 ～史上最高を作る!!～

みなさんこんにちは！生徒会長の中舘季来です。今年度の生徒会執行部は2年生11人、1年生6人の計17人です。古川高校生徒会執行部を漢字一文字で表すと「活」だと思っています。なぜこの漢字かというと、一人一人が自分のやりたいことを明確に持って、責任感があり、活発に意見を出してくれるからです。これから1年、私の選挙公約であった「史上最高の生徒会を作る」ことを目標として活動していきます。今は、古川高校だけのボランティアや活動だけでなく、校外での活動も同時に行っています。そしてまだ準備段階ではありますが、大崎市内の中学生のみなさんとの交流の機会も持ちたいと考えています。去年からのボランティアや色々な活動が成功できているのは、沢山のみなさんのご協力があったからです。これからも是非、古川高校生徒会執行部の活動にご協力をお願いします。



↑新執行部のみなさん

2年6組 中舘季来 (色麻中学校出身)

青少年健全育成大会 優秀賞

今回、青少年健全育成大会標語部門で優秀賞をいただきました。標語という形式の限られた字数で、自分の意図を伝えるのは難しかったですが、挑戦してみて良かったと感じています。自分の標語が、適切な交通ルールの遵守を啓発し、健全な意識の形成を少しでも促すことができたのなら幸いです。今回の経験を通して、自分自身も交通安全について深く考え、意識を高めることができました。今後も安全に気をつけて生活していきたいです。

1年2組 戸田青依 (築館中学校出身)

歩きスマホ
狭まる視界
迫る危険

青少年読書感想文コンクール 宮城県 部会長賞

「カントと祖父」

今回、自由図書部門で部会長賞をいただきました。私が今回読んだ『永遠平和のために』は、祖父の書斎から借りました。生前祖父が詠んだ歌に、「釈尊もカントも我も九条派」というものがあり、彼はことある毎に憲法九条の大切さを語っていました。しかし私は始め、釈迦とカントという世界的な偉人と自身を並べているのが滑稽に思われ、呆れるような気持ちで聞いていました。彼の認識が大袈裟でないと気付いたのは、平和実現という人類共通の課題において、それを思い動く人が誰であるかなど関係ないとこの本に教えて貰ったからです。この本には所々線が引かれていて、祖父が読み込んでいたことを感じました。この本から私が学んだのは、カントの思いだけでなく祖父の平和への強い気持ちもです。また、本に込められるのは著者の思いだけとは限らないと気づき、私の触れられる世界が少し広がったようにも感じました。



2年2組 皆川泉 (涌谷中学校出身)

ジュニアオリンピック・第53回U16陸上競技大会

愛媛県総合運動公園



→陸上競技部
佐藤君

私は、ジュニアオリンピック・第53回U16陸上競技大会・少年B150mの種目に出場した。宮城県予選会では、代表枠一名の優勝を掴み取り、全国への切符を手にした。昨年の予選会では結果を出せず悔しい思いをしたので「今年こそは」と気合いを入れて挑んだ大会であった。愛媛県で開催された全国大会では県代表として最高のパフォーマンスをしてこようと心に決めて臨んだが、思うような結果は出せず悔しい思いをした。この大会に出場し、全国区の選手の走り方やメンタルなどを見て、自分の非力さを強く知ることができた。今回経験した事を、成長に変えられるように日々努力を積み重ね、次の目標に向けて全力で精進していく。

1年2組 佐藤謙臣 (古川南中学校出身)

第17回東北高等学校男・女ソフトボール選抜大会

郡山ふるさとの森

「東北大会で学んだこと (ソフトボール部)」

古川高校ソフトボール部は、10月に福島県郡山市で行われた東北高校選抜大会に出場しました。22日に試合があり、一回戦で福島県第2代表の須賀川創英高校と対戦しました。試合の前半は失点が多く、優位になるようなゲーム展開にすることができませんでした。しかし、後半になるとピッチャーのリズムも良くなり、相手打線を抑えることができるようになりますと、本来のバッティングの力を発揮でき、良い感じにつながりました。追いつきそうでしたが7対12で負けてしまいました。この試合では準備が大切だったことを痛感しました。ピッチャーは試合前にもっと投げ込むべきだったし、バントも数多く練習でやるべきだったと思います。そして、何より試合の前半は少し元気がなかったことが大きな失敗であり、雰囲気も大事なことだと思いました。今後はこの失敗を生かし、試合のために一生懸命練習しようと思います。応援ありがとうございます。

2年1組 芦田蒼依 (米山中学校出身)

宮城県高等学校写真展入選

↓千葉君の作品「渴き」

「前進」

私は宮城県美術館で開催された県展において、入選を果たすことができました。写真部に入部してから、大会では思うような成績を残せず、周りとその力の差を感じていました。その中で、新たに挑戦したモノクロ写真で入選できたことは、非常にうれしいです。

写真部としては春季大会の1年生女子2人、夏季大会の柳川先輩に続く受賞となりました。学校内でもっと写真部の名前が広まるよう、実力をつけ、一歩ずつ前進していこうと思います。

1年5組 千葉光陽 (金成小中学校出身)

